

編集後記

今年は日照時間が短く、冷夏で作物の不作が予想されていますが、まだまだ暑い日が続いており、通勤時の朝夕は汗まみれになる状況です。こんな事を言いますと、1日中室外で作業されている方々には贅沢だと怒られるかもしれません。素直に頭が下がります。

九州や中国地方では、豪雨による土砂崩れによって、多くの大切な人命を失う災害が発生しました。ご冥福をお祈りします。

こんな折、衆議院総選挙が8月18日に公示され8月30日に投票票という運びになりました。選挙に先立ち作成された二大政党のマニフェストを覗いてみます。「災害から国民の命を守ることは、公共事業の大きな使命。そして未来をつくり、生活につながる新しい公共事業へ。生活道路や命の道、通学路の整備、バリアフリー化、学校の耐震化などを具体的に進めます」、「大規模災害発生時の被災者の迅速救済・被害拡大防止・都市機能維持のために、危機管理庁を設置するなど危機管理体制を強化する」。老人ホームが被災し、お年寄りが亡くなりました。災害から守るべき国民は、人口が多い(票が多い)都市部だけを対象にしている事を願っています。また、マニフェストを読んでいますと、総選挙

を度々やれば、国民の生活は向上する一方ではないかと感じるの私だけでしょうか。

若田光一さんが予定より一ヵ月半多い四ヵ月半の長期宇宙滞在を終え、7月末に帰還されました。日本人を代表して大きな功績を残されました。帰還して数日後の日米を結んだインタビューで「一ヶ月で適応できた。人間は新たな環境に早く適応できるとつくづく感じた」と答えていましたが、そのあとに「宇宙での規則的な運動と事前の鍛錬の成果である」を強調していました。更に「国際宇宙ステーションや米スペースシャトルにあったカメラは全て日本製であった」と、我が国の得意分野の技術は世界一であるとも言われていましたが、最後に「宇宙開発には膨大なコストがかかる。宇宙で宇宙飛行士が何をやって、どう役に立つのか、厳しい目で国民の皆さんに見ていただき、議論して貰う事も大切だ」と締めくくっていました。宇宙飛行士の方々が、現在の我々の社会と同じような考え方であることに驚きと親近感を覚えました。

防災、安全・安心な社会基盤整備特集は如何でしたでしょうか。何となく面白そうなものや数値解析がメインで難しかったものもあったかもしれません。今回お世話になった方々や読者の皆様に厚く御礼申し上げます。

(松本・中村)

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	今岡 亮司
上東 公民	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
佐野 正道	新開 節治
関 克己	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
橋元 和男	本田 宜史
渡邊 和夫	

編集委員長

岡崎 治義 (社)日本建設機械化協会

編集委員

森川 博邦	国土交通省
山田 淳	農林水産省
松岡 賢作	(独)鉄道・運輸機構
圓尾 篤広	(株)高速道路総合技術研究所
石戸谷 淳	首都高速道路(株)
高津 知司	本州四国連絡高速道路(株)
平子 啓二	(独)水資源機構
松本 敏雄	鹿島建設(株)
和田 一知	(株)KCM
安川 良博	(株)熊谷組
渥美 豊	コベルコ建機(株)
富樫 良一	コマツ
藤永友三郎	清水建設(株)
赤神 元英	日本国土開発(株)
山本 茂太	キャタピラージャパン(株)
星野 春夫	(株)竹中工務店
泉 信也	東亜建設工業(株)
斉藤 徹	(株)NIPPO コーポレーション
高木 幸雄	日本道路(株)
宮路 勝善	日立建機(株)
岡本 直樹	山崎建設(株)
中村 優一	(株)奥村組
石倉 武久	住友建機(株)
京免 継彦	佐藤工業(株)
久留島匡繕	五洋建設(株)
藤島 崇	施工技術総合研究所

10月号「災害・災害復旧特集」予告

- ・鉄筋コンクリート橋脚の地震損傷を早期に検知・復旧する技術の開発
- ・投下型水位観測ブイ
- ・火山観測用リモートセンシング装置による浅間山山頂火口内温度観測
- ・宮島・白糸川防災事業
- ・三宅島噴火災害における災害調査及び対策施設設計
- ・4足歩行双腕作業ロボットの紹介
- ・災害監視における小型無人機システムの活用

No.715「建設の施工企画」 2009年9月号

[定価] 1部840円(本体800円)
年間購読料9,000円

平成21年9月20日印刷

平成21年9月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 辻 靖 三

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 社団法人 日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	〒980-0802 仙台市青葉区二日町16-1	電話 (022) 221-3915
北陸支	〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1	電話 (025) 280-0128
中部支	〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支	〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	〒760-0066 高松市福園町3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-8-26	電話 (092) 436-3322